

第165回明専塾に参加して

工学部機械知能工学科3年 赤星 美彩子



はじめに

平成30年12月7日に戸畑キャンパス中村記念館において第165回明専塾が行われました。今回は明専塾10周年を記念し、第1回明専塾で講演された安川電機のOBの皆様にお越しいただきました。学生やOBの方を含め、80名近くの参加者が集まりました。

この度の明専塾で私が学んだこと、感じたことをお伝えさせていただきたいと思います。

講演会

今回のご講演には10周年記念にあたり安川電機代表取締役社長の小笠原浩氏（情54卒）をはじめのご挨拶



講演会の様子

をしていただきました。現役の大学生へ激励のお言葉を送っていただき、これからの勉学への励みとなりました。そのあと、坂本雅宏氏（制63卒）、出光利明氏（電56卒）、松浦勝彦氏（子60卒）、箱田貴久氏（情知H5卒）の4名の講師に講演をしていただきました。安川電機の歴史やこれからの事業内容、産業用ロボットやサーボモータについて、安川グループ各会社の事業内容など詳しく教えていただきました。

講演の中で最も印象に残ったのは、

ロボットが活躍する場面が徐々に広がってきているということです。安川電機では従来の産業用ロボットに加え、「人と共に作業する」人協働ロボットが開発されています。これまでロボットだけで作業することが難しかったことを人と協力して行うことで、作業員の負担を軽減し、生産の効率化を期待できると知り、非常に将来有望な分野だと感じました。

そのほかにも安川電機のロボット技術を応用し、バイオメディカルや医療・福祉の分野でも開発がなされています。特に少子高齢化が進む日本では福祉で活躍するロボットへのニーズは高まるのではないかと思います。

また、世界ではIoTに注目が集まっています。安川電機でもロボットが働く工場でのデータからより高効率を目指す「i3-Mechatronics」という技術開発に力を入れていると知り、世の中の需要に合わせる必要性を感じました。

懇親会

明専塾10周年を記念し、祝賀会も併せて行われました。懇親会では安川電機グループの11名の参加者から、疑問に思っていたことやお仕事につ

いてより具体的に何うことができた。先輩方の体験談を聞かせていただける大変貴重な機会となりました。



懇談会の様子

おわりに

私はこれまで何度か明専塾に参加し、どの回でもOBの方から多くのことを学ぶことができました。明専塾とは学生にとって、自分自身の将来を真剣に向き合うことができるきっかけにもなるのではないかと思います。

最後になりましたが、お忙しい中、この度の明専塾を開催するにあたりご尽力いただいたすべての方に心より感謝申し上げます。